

京都府中小企業技術センター協力会は、会員の皆さまと当センターとの交流を促進し、会員と当センターが共に発展していくことを目的とする会員組織です。10月23日(火)には交流事業として見学会を開催しましたので、その概要を紹介します。

見学会 エスペック株式会社福知山工場 他

午前中に北部産業創造センター、午後にエスペック株式会社福知山工場を見学しました。

第1部 北部産業創造センター見学

北部産業創造センターは、産学公が連携する新たな産業拠点として、昨年4月にJR綾部駅前にオープンしました。入居している京都府中小企業技術センター中丹技術支援室の「高速開発支援センター」をはじめとする新規導入機器などを見学しました。



第2部 エスペック株式会社福知山工場見学

エスペック株式会社は、最先端技術の発展を支える環境試験器*の世界トップメーカーです。そのマザー工場として、高度化、多様化する製品づくりの中核的役割を担う福知山工場と、同社の歩みを展示する歴史館を見学しました。



工場内は、標準化されたユニットとモジュールの組み合わせによる超多品様なサプライヤ体制を構築。受注にリンクした効率的な生産を行うための、生産ITシステムを駆使した生産ラインが確立され、2017年度の環境試験器の生産実績は、226種類、9,973台/年に達しました。

また、高品質の製品を作るためにQMC(Quality Management Circle)活動、整理・整頓・清掃を徹底すればしつけ・清潔はおのずと身に付くという考え方に基づく徹底した3S活動を通じて、継続的な生産現場の改善・改良に取り組まれています。

さらに、「モノづくりの基盤は人づくり」という思想のもと、社内技能検定制度を導入して高品質の製品を効率よく生産できる技能者の養成が行われています。特に特殊技能については、毎年1回、その技能が維持できていることを確認するための検定が行われ、基準に達しない場合はその技能を必要とするラインから外れて再教育を受けることが必要な制度になっています。

歴史館では、昭和22年7月に株式会社田葉井製作所として創業し、理化学機器の製造から始めて現在の会社に至るまでの歩みと同社製品の変遷をたどることができました。

*ある環境下での製品の耐久性や信頼性を評価・確認するために、温度や湿度、圧力、光、振動、電磁波などの因子による様々な環境を人工的に再現する試験器

京都府中小企業技術センター協力会の概要

京都府中小企業技術センター協力会は、当センターからの各種情報を提供するとともに、会員とセンターとの交流を促進し、もって会員とセンターの発展に協力することを目的として設立されたものです。

会員数 139社(平成31年1月現在)

会費 年会費 3,000円

平成30年度役員(敬称略)

会長: 安土 行博(株式会社イー・ピー・アイ 取締役会長)

副会長: 小島 久嗣(共進電機株式会社 代表取締役)

副会長: 中村 道一(NKE株式会社 代表取締役社長)

幹事: 佐々木 智一(佐々木化学薬品株式会社 代表取締役)

会計幹事: 富部 純子(日本蚕毛染色株式会社 代表取締役社長)

役員の方々には、当センターの研究課題を評価する研究事業推進委員を兼ねていただき、当センターが実施する所内研究について企業視点での貴重なご意見をいただいています。

主な事業

- 情報誌「クリエイティブ京都M&T」の送付
- 当センターの刊行物「技報」等の送付や研究会・セミナー等の案内
- 当センターホームページに会員紹介ページを掲載
- 交流事業の実施

① 研究成果発表会&ポスターセッション

毎年8月に開催する当センター研究成果発表会に併せて、会員と研究者との交流の場となるよう軽食を交えてのポスターセッションを同時開催しています。

② 講演会・見学会

その時々トレンドを題材にした講演会の開催や公共施設・工場等の見学会を実施しています。

このように、会員企業様は当センターの温かくも厳しい応援団として常に当センターを見守っていただいている存在です。今後も当センター及び当センター職員と会員様の交流を目指し事業を展開していきます。

本会の目的にご賛同いただける企業様は、ぜひご入会ください。(法人・個人の別は問いません。)

ホームページ:

https://www.kptc.jp/p_kanrendantai/p_coo/

